



公立大学法人富山県立大学
News Release

事務局教務課

【本発表に関すること】

担当：情報研究係垣内 電話：0766-56-7500（内線）1229

【本件に関すること】

担当：工学部環境・社会基盤工学科 准教授 手計太一

電話：0766-56-7500（内線）1676

電子メール：tebakari@pu-toyama.ac.jp

令和元年 8 月 26 日

第 27 回地球環境シンポジウム

一般公開シンポジウム

「SDGs 未来都市とやまから日本の将来を探る」を開催

公益社団法人土木学会地球環境委員会は、8 月 27～29 日の 3 日間、第 27 回地球環境シンポジウム(実行委員長 富山県立大学准教授 手計太一)を開催いたします。2 日目の 8 月 28 日(水)午後には、一般公開シンポジウム「SDGs 未来都市とやまから日本の将来を探る」を開催いたします。

富山市は、2018 年 6 月 15 日に経済・社会・環境の分野をめぐる広範な課題に統合的に取り組む国(内閣府)の「SDGs 未来都市」に選定されました。さらに、SDGs 未来都市の中でも先導的な取り組みであって、多様なステークホルダーとの連携を通じて地域における自律的好循環が見込める取り組みである、「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。

さらに、本年 7 月 1 日には、富山県が提案する『環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」』が 2019 年度 SDGs 未来都市に選定、同時に南砺市も「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～が SDGs 未来都市に選定されました。

本シンポジウムでは、日本の自治体をけん引する富山の SDGs の具体例をエネルギーというキーワードを通して発信するとともに、SDGs 座談会では、森雅志富山市長をお迎えし今後の課題や展開を議論いたします。

広く県民の皆様にも SDGs の理解を深めていただくとともに、富山県のエネルギーについても見識を広げていただく良い機会と考えています。

【お問い合わせ先】

第 27 回地球環境シンポジウム実行委員会

委員長 ^{てばかり} 手計 太一(富山県立大学)

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学工学部

TEL; 0766-56-7500(内線 1676)

携帯電話; 090-3406-3207

tebakari@pu-toyama.ac.jp

第 27 回地球環境シンポジウム
一般公開シンポジウム「SDGs 未来都市とやまから日本の未来を探る」
主催:土木学会地球環境委員会
共催:水文・水資源学会
後援:富山県, 富山市, 富山県立大学
2019 年 8 月 28 日(水)13:00~17:30(12:30 開場)
富山国際会議場メインホール
一般公開(無料)

【プログラム】

開会挨拶 土木学会地球環境委員会委員長 米田 稔(京都大学教授)

13:10~14:10

基調講演「国連 SDGs の未来社会への貢献—世界から、日本から」
九里 徳泰氏(相模女子大学教授、富山市政策参与)

14:10~15:30 富山の事例紹介(20分×4件)

1. 富山県の自然エネルギーを活用した地域づくり
上坂 博亨氏(富山国際大学教授)

2. 富山県企業の小水力発電への取り組み—県内から東南アジアへ—

市森 友明氏(富山県小水力利用推進協議会会長、(株)新日本コンサルタント代表取締役社長)

3. 富山県における地熱発電開発の推進について

坂井 宏幸氏(富山県企業局参事・電気課長・新エネルギー開発班長)

4. 水素エネルギーと富山県の取り組み

脇坂 暢氏(富山県立大学教授)

休憩(30分)とポスターパネル展示

16:00~17:30 SDGs 座談会(90分)

コーディネーター:荒巻 俊也氏(東洋大学教授、土木学会地球環境委員会政策研究小委員会委員長)

パネリスト:森 雅志氏(富山市長)

九里 徳泰氏(相模女子大学教授)

上坂 博亨氏(富山国際大学教授)

市森 友明氏(富山県小水力利用推進協議会会長)

脇坂 暢氏(富山県立大学教授)

坂井 宏幸氏(富山県企業局参事・電気課長・新エネルギー開発班長)